

医療ソーシャルワーカー

ご存知ですか？

当センターにも福祉の専門家があります!!

☞患者さん、医療機関の方へ

☞MSWを目指す方へ

☞患者さん、医療機関の方へ

治療を受けるにあたり、ご心配や不安なことはありませんか？

例えば・・・

- ・医療費が払えないので治療を受けることが出来ない
- ・入院と言われたが、その間に仕事が出来ないので生活費が心配
- ・手術をして家に帰るけど、このまますぐに職場や学校へ復帰できるかどうか不安
- ・今まで家で介護や療養を続けてきたけど、使える介護保険の申請や在宅サービス、施設について知りたい。

そんな時には患者総合相談窓口へご相談ください。

医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）がお話を伺います。

医療ソーシャルワーカーとは・・・

保険医療機関において、社会福祉の立場から患者さんやその家族の方々の抱える経済的・心理的・社会的問題の解決、調整を援助し、社会復帰の促進を図る業務を行います。

※医療ソーシャルワーカーはMSW（Medical Social Worker）と呼ばれることもあります。



お問い合わせ

連絡先

TEL：06-6692-1201（代表）
FAX：06-6692-2099（直通）

時間帯

平日 9：00～17：30
※土日祝、年末年始は除く

その他

原則として、面談（時間は30分程度）
相談は無料です
秘密は守ります

★直接お電話頂くか、訪室下さい。また、お待たせすることもありますのでご予約の上、お越しいただくことをお勧めいたします。

相談室 1階 患者総合相談窓口



MSWを目指す方へ

当センターMSWの業務方針

『みんなが1人のために、1人が皆のために、
思いやりを持って、環境、しくみ、技術を活用
し、個々人の幸せを実現して、社会の幸せへ
つなげていくための支援』

2018年4月現在

MSWの1日(一例)

9:00	始業 ミーティング 面談 ケース記録作成 電話対応
12:00	昼休憩(45分間)
13:00	病棟カンファレンス
14:00	面談 ケース記録作成 電話対応 委員会・会議へ出席 各チームラウンド
17:30	終業

当センターのMSWが参加している委員会・チーム活動

委員会	虐待対策委員会子ども分科会 虐待対策委員会成人分科会 地域医療支援病院運営委員会 ベッドコントロール運営委員会 医療技術部運営委員会 緩和ケア委員会 がん整備委員会 ER委員会 障がい者医療・リハビリテーション部門運営委員会
地域連携会議	住吉区医療と介護の連携会(どらやきの会) 阪南6区病病連携の会 大阪地域医療連携合同協議会(たこやきの会) 大阪緊急連携ネットワーク 脳卒中連携パス会議
チーム医療	緩和ケアチーム会議 回復期運営会議 リハビリ科運営会議 高次脳機能検討会 認知症ケアチーム

現場職員の声

★医療ソーシャルワーカーになっただきかけ

医療ソーシャルワーカーは患者さんの弱い立場をまもることができ
ると思ったから。

TVでMSWという仕事を知って、病院に福祉職が居ることを知
り、元々福祉に興味があったので、MSWを目指した。

福祉系の大学を出て、社会福祉士資格を取得したが、最初はMSW
として就職できず、他の職種として就職したが、やはりいずれ相
談職になりたいと思っていた。出産を機に仕事を辞めていたが、

★医療ソーシャルワーカーのやりがいとは？

患者さんの人生は長いけど、MSWとしてかかわる期間はホン
の一瞬になるけど、そこで何かの縁で知り合って、お互いに

退院支援をして家に帰った患者さんが「帰ってよかった」と言ってもらった時。

何かをしてあげる立場ではなく、支えていく立場であるという、MSWの存在意義を感じられる時がやりがい

実際に困っている人がそばに居て、支援を開始した際に社会資源とのマッチングがうまくいった時にとてもやりがいを感

MSWで行っている勉強会テーマ (2017年度)

★業務勉強会 (毎月1回)

- ▷ MSWの支援方針について(社会福祉とは何か)
- ▷ 人材活用・養成について
- ▷ スーパービジョン体制・評価(FKG)について
- ▷ 記録について
- ▷ 続・記録について
- ▷ 続々・記録について
- ▷ 理論編(社会構成主義・ナラティブアプローチ)
- ▷ 理論編(生活アセスメント)
- ▷ 実践編(生活アセスメントシートの活用法)
- ▷ 実践編(SOAP法について)
- ▷ 実践編(面接技法・SFA<ソリューション・フォーカスト・アプローチ>)

★新入職員勉強会 (毎月1回)

インテーク・アセスメントを重視した事例検討を行い、よりよい支援ができるようになるために自分自身の知識を深め、同期と考え方や意見を出し合い、時にスーパーバイザーからの助言をおおきながら、お互いのスキルアップを図る。また、急性期・総合医療センターの医療相談室としての見解を共有できるようにするために行う。

★自主勉強会 (土曜日・不定期開催)

社会資源や制度、ソーシャルワーク理論等、知りたいことについて積極的に学ぶ機会として院内で勉強会を開催している。

★その他

新入職員が居る場合は、集中的に研修を行い、積極的に同化体験を行ってもらう。

